



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931

令和6年度 森林・林業技術交流発表会に参加しました

今年度の令和6年度森林・林業技術交流発表会は、令和7年1月28日～29日の2日間にわたり、発表課題は森林技術部門15課題、森林ふれあい・地域連携部門6課題、森林保全部門7課題、中学・高等学校の部1課題の全29課題をもちまして、東北森林管理局2階大会議室にて行われました。

当センターは2日目に森林保全部門で発表課題【冬期間の白神山周辺での低密度下におけるニホンジカに対する誘引物の効果について】を中和専門官が発表しました。今回、冬期間の誘引試験を行うこととなったきっかけは、2年前に、ニホンジカによる農林業被害や自然植生への影響が出る前の段階で、捕獲・駆除等の対策を行う際に、どのような誘引物を使うと効果的に誘引できるのかを調べるため、令和4年度の夏期に誘引試験を実施した試験結果（誘引されなかった）を令和4年度の本発表会で発表した際に、審査員の先生から、餌の少ない冬期間に試験を行ってみたいかがどうかとのアドバイスを頂いたことからです。

今回、塩分・鉄分等を固めたシカ誘引剤、牧草、ヘイキューブの3種類の餌を用いた誘引試験を行いました。冬期でもシカは誘引されない結果となりました。今回の発表の結果は惜しくも当センターは受賞をのびましたが、この研究発表をとおして、センター職員全員が関わりを持ち、チームとして取り組めたことが良かったと思います。また、今回の、当センター研究発表に対し、ご助言・アドバイス等いただいた方々に本当に感謝申し上げます。

最後になりますが、令和6年度森林・林業技術交流発表会主催者の皆さんのスムー



発表中の中和専門官



発表会場の様子

ずな運営に感謝します。また、各発表部門で受賞されたチームの方々本当におめでとうございました。また、全 29 チームの方々、お疲れ様でした。

白神山地ビジターセンターふれあいデー（イグルー作り）

令和 7 年 2 月 15 日～16 日にかけて西目屋村の白神山地ビジターセンターで、ふれあいデーが開催され 15 日のみでしたが、イグルー作りを手伝いに行ってきました。

イグルーとはカナダ北部のツンドラ地帯に住むイヌイットが作るドーム状の仮設住宅です。

作り方は青森大学の先生と生徒さんの指導の下、雪を踏み固め、切り出し、積んで行くものでした。

当日は 2 月としては、暖かく雪が少し溶けかけ、踏み固めは簡単に固まりましたが、切り出した雪のブロックが少し湿り重くなり、なかなかの重労働になりました。

途中からは、ふれあいデーに来た子供達にスノーソーを使った雪のブロックの切り出しを体験してもらい、次々と切り出される雪のブロックを運んで持ち上げ、イグルーの内側で青森大学の先生が少しずつブロックを内側にずらしながら、ドーム状になる様に積み上げていました。

当初、完成は 16 日の予定でしたが、暖か過ぎると言うことで、急遽 15 日中に完成させることになり、スタッフも 2 人を増やして急ピッチでのイグルー作りとなり、2 月だというのに汗をかきながらの作業となりました。

その結果、何とかふれあいデー開催終了時間の 15 時前に完成しました。

イグルーの中は思った以上に暖かく驚きました。

完成し中に入れるようになると、中に入りたい子供達が列になっていました。

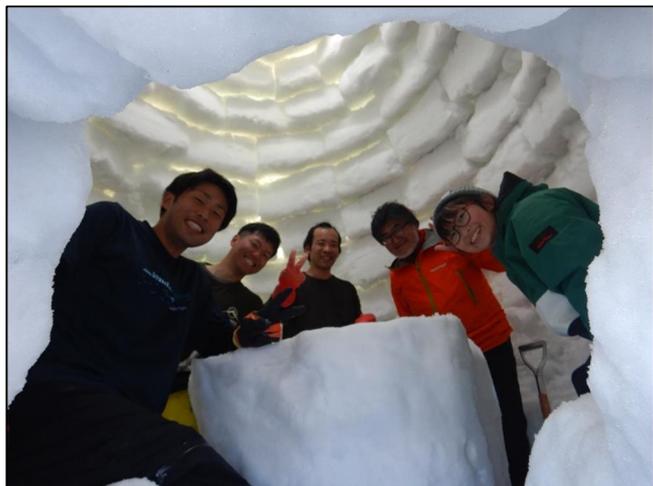
なかなかの重労働でしたが、好評だったので報われました。



雪のブロックを切り出す様子



ブロックを上まで積み上げた状態



完成したイグルー内で記念撮影